

# 社会資本総合整備計画(第1回変更)

景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり

平成 28 年 12 月 14 日

長野県北安曇郡池田町

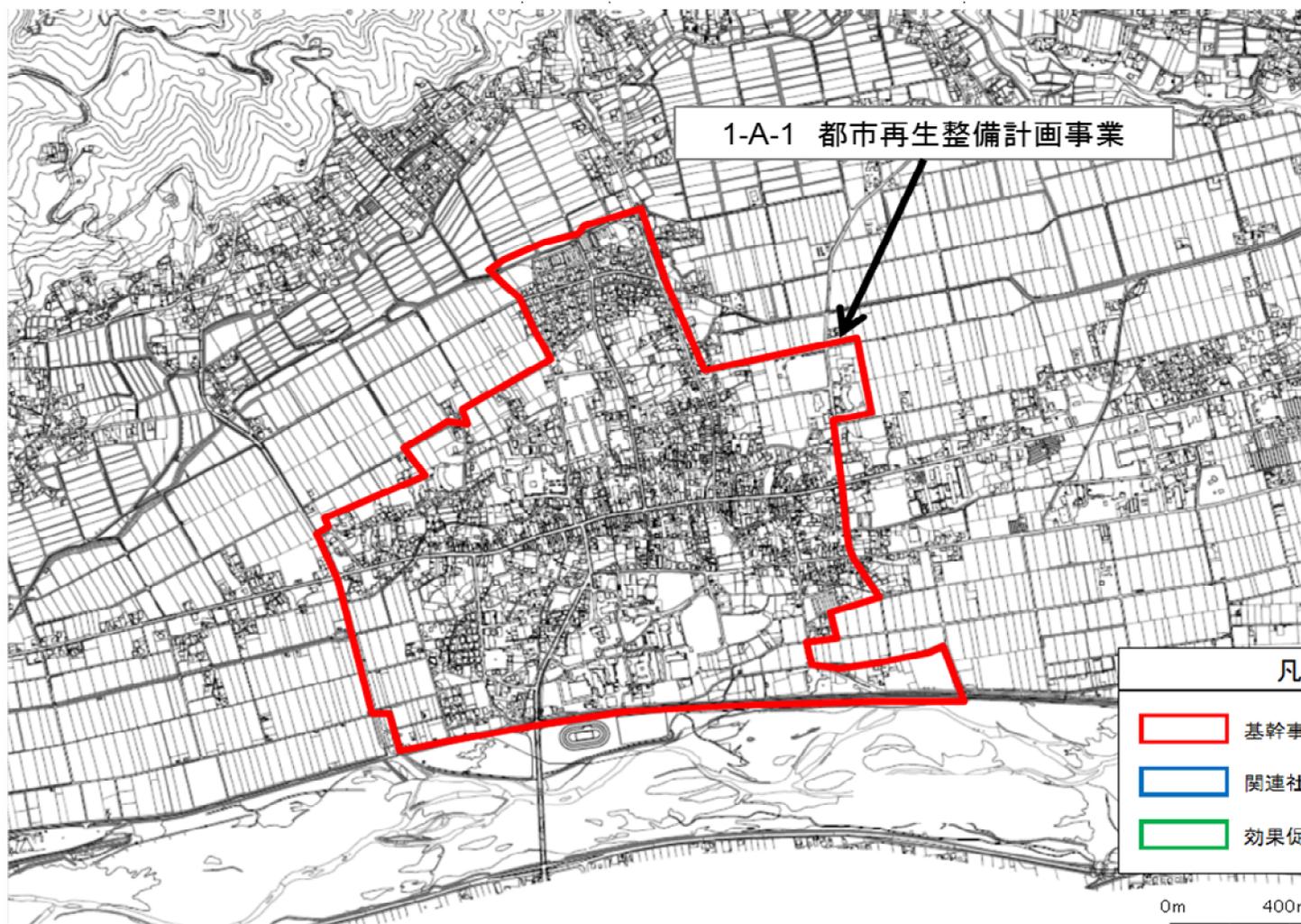
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年12月14日

計画の名称	景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり										重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象	長野県北安曇郡池田町																											
計画の目標	【景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり】 1. まちなかのにぎわいの再生を支援するまちづくり 2. まちなかの憩いの場の創出																																	
計画の成果目標（定量的指標）	・地域交流センター、図書館の利用者数を21,855人/年（H25）から27,200人/年（H31）に増加 ・まちなかの歩行者数を240人/12hに維持 ・まちなかの公園緑地の利用者数を19,398人/年（H25）から20,800人/年（H31）に増加																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域交流センター、図書館の利用者を測定する。</td> <td>21,855人/年</td> <td>23,000人/年</td> <td>27,200人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要地方道大町明科線の歩行者数（歩行者・自転車）を、12時間（7:00～19:00）測定する。</td> <td>240人/12h</td> <td>240人/12h</td> <td>240人/12h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農村広場、アルプス広場、テニスコート、公民館跡地ミニ公園、緑地公園の利用者を測定する。</td> <td>19,398人/年</td> <td>20,000人/年</td> <td>20,800人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	地域交流センター、図書館の利用者を測定する。	21,855人/年	23,000人/年	27,200人/年		主要地方道大町明科線の歩行者数（歩行者・自転車）を、12時間（7:00～19:00）測定する。	240人/12h	240人/12h	240人/12h		農村広場、アルプス広場、テニスコート、公民館跡地ミニ公園、緑地公園の利用者を測定する。	19,398人/年	20,000人/年	20,800人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																															
地域交流センター、図書館の利用者を測定する。	21,855人/年	23,000人/年	27,200人/年																															
主要地方道大町明科線の歩行者数（歩行者・自転車）を、12時間（7:00～19:00）測定する。	240人/12h	240人/12h	240人/12h																															
農村広場、アルプス広場、テニスコート、公民館跡地ミニ公園、緑地公園の利用者を測定する。	19,398人/年	20,000人/年	20,800人/年																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,797.6百万円	A	1,797.6百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%																						
<b>交付対象事業</b>																																		
<b>A 基幹事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
1-A-1	都市再生	一般	池田町	直接	池田町	都市再生整備計画事業	道路建設、公園整備（2箇所） 地域交流センター建設、図書館建設 まちなかサイン整備 文化財管理施設整備 まちなか活性化支援 等	池田町	H27	H28	H29	H30	H31	1,797.6																				
合計													1,797.6																					
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H27	H28	H29	H30	H31																					
合計																																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
<b>C 効果促進事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H27	H28	H29	H30	H31																					
合計																																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
	交付金事業者の運営に必要な人件費等の経常的な経費への充当を目的とする事業など、																																	
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H27	H28	H29	H30	H31																					
合計																																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

# (参考図面) 市街地整備

計画の名称	景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり	交付対象	池田町
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)		



\*図中の基幹事業及び提案事業は、都市再生整備計画事業における「基幹事業」及び「提案事業」を示す。

# 都市再生整備計画(第1回変更)

いけだちく  
池田地区

ながのけん きたあずみぐん いけだまち  
長野県 北安曇郡 池田町

平成28年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	いけだ まち 池田町	地区名	いけだ まち 池田地区	面積	135 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

### 目標

- 【景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり】
1. まちなかのにぎわいの再生を支援するまちづくり
  2. まちなかの憩いの場の創出

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

池田町は、北安曇郡の南部に位置し、北アルプスの峻峰槍ヶ岳に源を発する高瀬川に沿った、人口10,399人(平成26年5月1日現在)の工業と農業を主な産業とする町である。産業は、明治初期より生糸の生産が行われ、大正初期は岡谷、須坂に次ぐ製糸の町として栄え、葉たばこの生産も優良品を大量に産出した。戦後の合併後は電機、機械を中心とした工業が発展してきた。また、当町は県下でも有数の米どころとして知られている。近年では中山間地において基盤整備が行われ、恵まれた気象条件下で高品質なブドウが生産されている。また、果樹・野菜・きのこなどの栽培も行われている。このような時代背景のなか、町の中心部は時代の流れの中でにぎわいを見せてきたが、近年のモータリゼーションの進展、近隣地域への郊外型大型店の出店、若者の町外への流出、長野県の高齢化率26.5%(国勢調査：平成22年)を大きく上回る高齢化率30.9%等、様々な課題への対応が求められている。

このような状況のなか、池田町では、「池田町第5次総合計画」において、「人が輝き 歴史と自然が彩る てるてる坊主のふるさと」を基本理念とし様々な施策に取り組んできた。さらに、「池田町都市計画マスタープラン」では、2025年を目標年次とし、まちづくりの理念を「人と自然の融和したまちづくり ~池田のいいところを活かして魅力いっぱいのもちへ~」とし、土地利用計画の策定を行うなど、秩序有る都市計画の推進に努めてきた。

一方、あづみ病院は、平成26年より機能を充実させるため施設の整備を予定しており、これに伴い利用者の増加が推察される。さらに、様々なスポーツ大会やイベントが開催される総合体育館へ至る道路が、一部に狭隘区間があるとに分かりにくく、特に町外から来訪する利用者が不便を来している。

さらに、住民へのアンケート調査でも指摘されたとおり、池田町には多くの観光資源や自然があるが、それらが十分に活用されておらず、観光産業の低迷やにぎわいの喪失の原因となっている。町では、あづみ野池田クラフトパーク周辺整備や、いけだまちてるてる坊主アート展などを実施し、集客に努めてきたが効果は十分とはいえない状況にある。

#### 課題

##### 1. まちなかのにぎわいの再生

池田町の中心街(まちなか)は、池田町役場、あづみ病院、池田町公民館、池田町図書館、池田町総合福祉センターやすらぎの郷、池田小学校、高瀬中学校など、行政、医療、福祉、教育の主要な機関が集積する地域であり、かつては商業施設の集積も見られたことからにぎわいを見せていたが、モータリゼーションへの対応の遅れ、郊外型大型店の相次ぐ進出等により、そのにぎわいが失われてしまっている。特に地域住民の買い物やコミュニケーションの場として長年愛されてきた「アップルランド池田店」が平成25年2月に閉店し、さらなる衰退が危惧されている。まちなかは多くの社会資本が集積する地域であり、集約型都市構造を目指す必要性からも、にぎわいの再生が課題である。また、池田小学校、高瀬中学校が位置していることから、にぎわいの再生後に増加が見込まれる自動車交通に対し、児童、生徒の通学路の安全確保も課題である。

また、池田町には多くの観光資源が点在しているが、それらを訪れる観光客の利便が十分ではない。多くの観光資源を有効に活用するために、観光資源の再整備や観光客の回遊を促す環境の整備が課題である。

一方、まちなかには、主要な幹線道路として主要地方道大町明科線、県道上生坂信濃松川停車場線が設置されており、主要地方道大町明科線は、朝夕の交通が集中する時間帯には一時的に渋滞が発生している。さらに町の南部地域からあづみ病院等へのアクセスは、長年の懸案とされている。従来より、あづみ病院周辺では、職員の通勤や施設利用者による周辺道路の混雑等が課題となっており、増加が予想される利用者の交通を適正に処理するための道路整備が急務となっている。また、総合体育館へ至る道路の整備も、町外を中心とした利用者の利便の向上や地域防災計画の改定に伴い基幹避難所とされたことによる救援物資の搬送が課題となっている。

##### 2. まちなかの憩いの空間の創出

池田町の中心街には、まとまりのある広場や地域住民が憩うための公園が設置されておらず、設置に関する要望もある。地域住民の憩いの場や子育て世代のコミュニケーションの場として、公園の設置が急務となっている。また、総合計画においても、「中心市街地においては、池田町都市計画マスタープラン及び社会資本総合整備計画に基づき、子どもや高齢者がくつろげる身近な公園・広場の整備を検討します。」と示されている。

#### 将来ビジョン(中長期)

池田町では、「池田町第5次総合計画」の長期構想において、「人が輝き 歴史と自然が彩る てるてる坊主のふるさと」を基本理念に定めている。また、平成18年1月に策定された「池田町都市計画マスタープラン」では、2025年を目標年次とし、まちづくりの理念を「人と自然の融和したまちづくり ~池田のいいところを活かして魅力いっぱいのもちへ~」とし、目標像として、暮らしの目標を「快適で持続可能な暮らしの実現」とし、具体的な目標像として「多世代が住みやすい安全で快適な住環境」「自然のよさや恵みを実感できる生活」としている。さらに、産業の目標を「地域に根ざした産業振興」とし、具体的な目標像として「地域で生産したものを地域で販売・消費できる農業」「地域に根ざした産業で振興を図る商工業」「美しさで人を呼び、味わいと体験で満足させる観光」としている。20年間に必要な3つの取り組みとして、「快適居住創出プロジェクト(住まう場所としての質の向上)」「産業雇用創出プロジェクト(地域の資源を活かした産業の定着)」「美しいまちづくり満喫プロジェクト(美しさを前面に出した観光振興)」を掲げている。

計画対象地域は、多くの住民が居住する地域で、池田町役場、あづみ病院、池田町公民館、池田町図書館、池田町総合福祉センターやすらぎの郷、池田小学校、高瀬中学校など、行政、医療、福祉、教育の主要な機関が集積する地域であり、池田町のまちづくりに対する基本理念や重要課題への対応を行ううえで重要な位置づけとなる。したがって、これらの地域を積極的に整備することにより、「景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり」を推進する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
地域交流センター・図書館の利用者数	人/年	地域交流センター・図書館の年間利用者数の合計	まちのにぎわいを創出するための中心街へ来訪する利用者の増加	21,855	27,200
まちなかの歩行者数	人/12h	主要地方道大町明科線の歩行者、自転車数	商業活性化に直接関係が深いまちなかの歩行者数の維持	240	240
まちなかの公園・緑地の利用者数	人/年	農村広場、アルプス広場、テニスコートに併せ、整備する緑地公園等の利用者数	まちなかの憩いの場の創出により、まちなかの公園等の利用者数の増加	19,398	20,800

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1. まちなかのにぎわい再生</p> <p>現在、老朽化が著しくまた十分な広さが確保されていない町公民館、町図書館をまちなかの中心地に移転整備を行い、地域の交流拠点に位置づけ、まちなかのにぎわいの再生を図る。</p> <p>また、図書館移転跡を有効に活用する文化財管理施設の整備や商工会等が実施するまちなか活性化事業への補助による空き店舗対策等により町民や観光客のまちなかの回遊を促すことによるにぎわいの再生を図る。</p> <p>さらに、計画区域内に別途設置が予定されている商業等活用エリアとの連携による、利用者の交流を図る。</p> <p>一方、まちなかには池田小学校、高瀬中学校が位置しており、まちなかのにぎわいが再生されると、自動車交通量の増が見込まれることから、児童、生徒の交通安全確保にも配慮し、できるだけ通学路に影響の少ないルートを設定し道路整備を行う。計画区域内の各所にある観光施設や観光資源を有効活用するためには、観光客の回遊を促す必要があり、各観光資源や観光名所を示すまちなかサインの設置及び町道の整備を行うとともに、公民館等の跡地に公園を整備し、てるてる坊主の館と一体的な利用を促すことによって観光振興を支援する。</p> <p>また、町の歴史を後世に伝えるための施設として文化財管理施設を整備し観光資源として活用する。</p> <p>さらに、商工会等が実施するまちなか活性化事業において、空き家・空き店舗対策、新たな観光資源等の発掘等を行うなどを目指しており、この事業を支援することによって、より一層の観光振興を図る。あづみ病院は、機能の充実を目指して病棟の増築を予定しており、これに伴い利用者の増加が推察される。さらに町の南部地域からあづみ病院等へのアクセスは、長年の懸案とされている。従来より、あづみ病院周辺では、職員の通勤や施設利用者による周辺道路の混雑等が課題となっており、増加が予想される利用者の交通を適正に処理するための道路整備を行い、まちなかの交通の適正配置を図る。</p> <p>また、改定された「池田町地域防災計画」において避難施設に指定されている総合体育館は、基幹避難所として位置付けられ、有事の際には多くの町民が避難する計画となっている。この基幹避難所へは、多くの支援物資が集積することが推察されるが、総合体育館及び地域交流センターの移転先周辺の道路は、狭隘な区間が多く有事の際に円滑な避難、支援物資の運搬、救急患者の搬送等に支障を来す可能性があることから、周辺道路の拡幅工事等を行い、円滑な避難所の運営を図ることのできる交通環境を整備する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路：町道251号線 道路：町道739号線 道路：町道740号線 公園：公民館跡地ミニ公園整備事業 地域生活基盤施設：まちなかサイン整備事業 高次都市施設：地域交流センター建設事業</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業：まちなか活性化支援事業 地域創造支援事業：図書館整備事業 地域創造支援事業：文化財管理施設整備事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>総合体育館耐震化事業 あづみ病院新病棟建設事業 商店街まちづくり事業</p>
<p>2. まちなかの憩いの場の創出</p> <p>計画対象区域内には、小中学校や高等学校のグラウンド、農村広場グラウンド等が整備されているが、一般の町民が憩うことのできる公園は整備されていない。</p> <p>一方、長野県都市公園条例では、都市計画区域内における人口1人当たりの都市公園敷地面積の標準を10㎡、用途域内の標準を5㎡と定められている。池田町における現況は、都市計画区域内人口1人当たり21.73㎡であるが、その多くはあづみ野池田クラフトパーク(17ha)が占めていることから、まちなかの憩いの場を確保することが急務となっている。</p> <p>そこで、公民館・教育会館の跡地等に公園を設置することにより、町民、観光客の憩いの場を創出するとともに都市内緑地としての機能を目的とした整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>公園：公民館跡地ミニ公園整備事業 公園：緑地公園整備事業 高次都市施設：地域交流センター建設事業</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業：図書館整備事業</p>
<p>その他</p> <p>計画策定の経緯</p> <p>池田町では、平成18年1月には都市計画マスタープランの策定が行われている。この都市計画マスタープランの策定に際しては町民アンケートを実施しており、住民意向を反映した計画となっている。</p> <p>また、平成21年度を初年度とした「池田町第5次総合計画」を策定しており、策定に際しては民間諸団体の代表者や、識見を有するもの、公募による住民等による総合計画審議会を開催し、住民意見を反映した計画としている。</p> <p>本計画で予定する事業は、これら上位の計画に示されているもの及びそれに関連する事業が多く、事業間の整合を図っている。</p> <p>さらに、計画の策定に際して、事業の必要性、各施策の重要度、満足度等についてのアンケート調査を実施し、住民意向把握に努めると共に、意向を反映した計画としている。</p> <p>併せて、池田町社会資本総合整備計画策定委員会を設置し、一般公募による町民も含めた委員会を15回開催し内容の検討を行うとともに、町民説明会を5回開催し、計画の立案に反映している。</p> <p>さらに、本計画の区域内において、商業等活用エリアを設定し、まちなかに居住する町民の生活利便の向上を図る計画としており、現在、「商業等活用エリア検討委員会」で詳細について検討中である。今後、検討結果に基づき、地域交流センター等と連携しながらまちなかの再生に取り組む予定としている。</p> <p>しかし、これらの事業を実施するためには、多くの予算が必要であり、財政健全化を進める中で短期間(5年程度)で実施することは難しい。したがって、「社会資本整備総合交付金制度」を活用し、概ね5年程度でこれら事業を完成し、もって、地域の活性化を図ることとした。</p>	



都市再生整備計画の区域

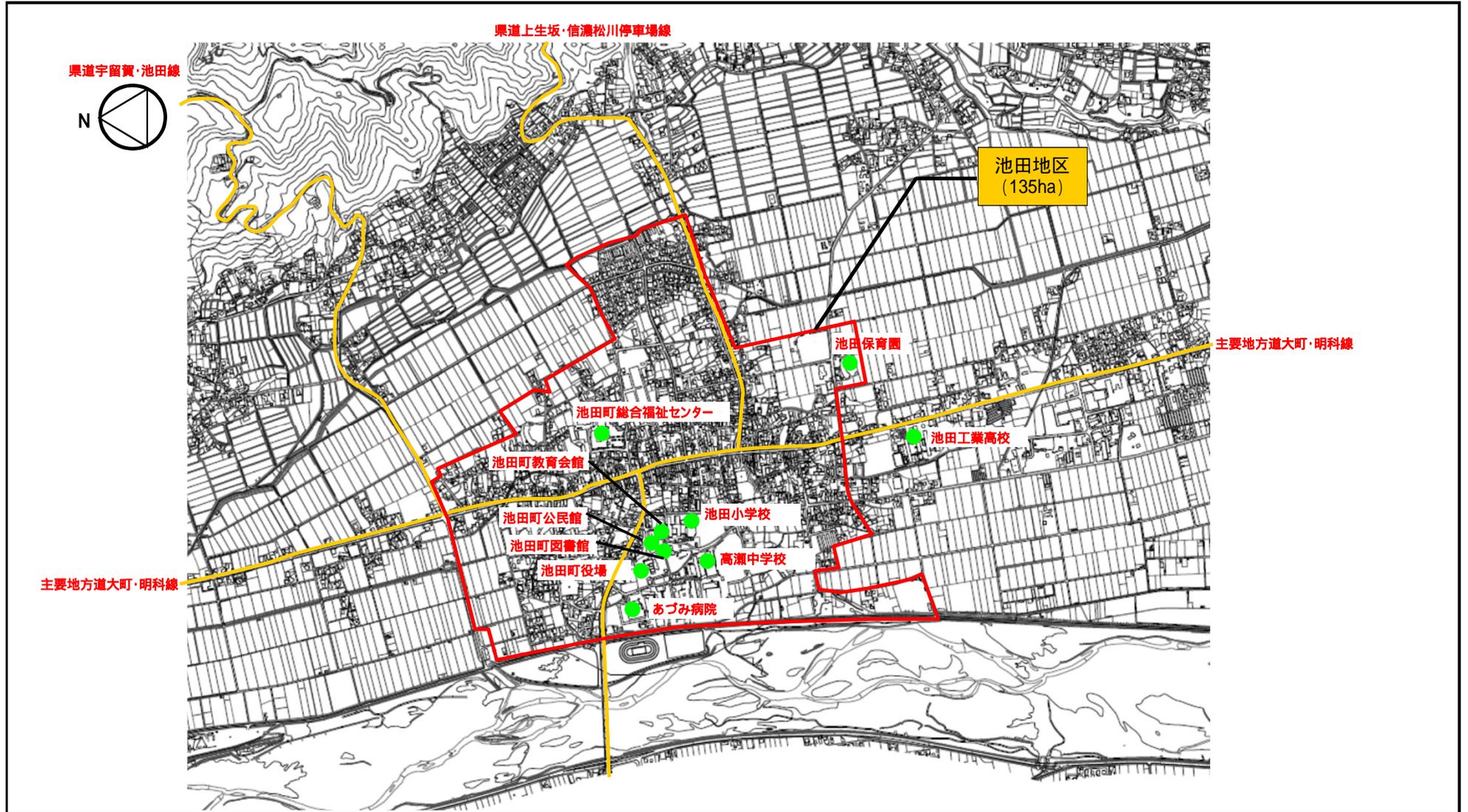
長野県北安曇郡池田町 池田地区

面積

135 ha

区域

長野県北安曇郡池田町 豊町・吾妻町・東町・一丁目～五丁目



いけだまち  
池田地区(長野県池田町) 整備方針概要図

目標	【景観を守り、まちのにぎわいの再生を支援するまちづくり】 1. まちなかのにぎわいの再生を支援するまちづくり 2. まちなかの憩いの場の創出	代表的な指標	地域交流センター・図書館の利用者数 (人)	21,855	(平成25年度)	27,200	(平成31年度)
			まちなかの歩行者数 (人 / 12h)	240	(平成22年度)	240	(平成31年度)
			まちなかの公園・緑地の利用者数 (人)	19,398	(平成25年度)	20,800	(平成31年度)

